

Tachibana Being vol.85

特集 進め! たちばな

- 02 「たちばなドリームチャレンジ」に密着
- 04 京都橘の学びに注目!
- 06 学生生活を支える施設が続々誕生!
- 08 京都橘の改革 一より充実した学びを学生と社会へー
- 10 気になるウワサの先生 突撃! まだ見ぬ研究室





学生のやってみたいを応援する 「たちばなドリーム チャレンジ」に 密着

「たちばなドリームチャレンジ」は、学生から応募される主体的な企画を選考し、大学が資金面で援助する取り組みです。2015年度は6つの活動が採択され、それぞれが意欲的に取り組みました。ここでは、そのなかから2つの団体の活動にスポットを当て紹介します。



その他のプロジェクト	活動概要
東北ボランティア ～地域密着にこころプロジェクト～	震災の影響が残る東北地域で、不明者、遺物の捜索活動や被害世帯の除草作業等のボランティア活動を行った。
京都橘キャンパス バリアフリーマップ作成	本学のバリアフリーマップを作成。作成にあたって調査した内容を大学に提供し活用を提案した。
京都橘大学オリジナル 手帳開発プロジェクト	本学のオリジナル学生手帳を作成し、多様な学生生活のサポートをする。
CRCプロジェクト(Catch & Release Regional Contribution project)	被災地や地域に密着した理学療法士の活動や役割を学び、本学の近隣地域でリハビリテーション活動を行った。



代表 渡邊 雄一郎 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科 4 回生

私は放送部に所属していて、放送部の後輩と企画しました。そして、これに賛同してくれた、観光・まちづくりを学ぶゼミの友人たち6人とラジオ番組の企画・制作・出演を行いました。

番組内容は、京都橘の学生団体の活動と京都の観光地、カフェを紹介する3つを柱として制作しました。毎回、ゲストに学生を迎え、インタビュー形式で各団体の活動を紹介。また、観光地とカフェの紹介では、実際に現場に取材行っ

て体感したことをレポートしました。一人でも多くの学生に興味を持ってもらい、足を運んでもらいたいとの思いで放送しました。

学生のときに自分たちがやってみたいと思った活動に、大学から支援をしてもらえ、おもしろい活動ができました。こんなことをやってみたい！と考えている人は、この機会を逃さず、チャレンジしてほしいですね。

概要
学生放送局をつくり、学生のさまざまな活動や京都についての情報発信を目的にスタート。NPO京都コミュニティ放送「FM79.7 京都三条ラジオカフェ」を利用して放送した。活動期間は、2015年8月から翌年1月まで、月1回30分間の生放送を6回行い、その放送を大学の食堂などで再放送した。

京都橘大学ラジオプロジェクト



代表 三芳 智伸 さん
現代ビジネス学部 現代マネジメント学科
救急救命コース 4 回生
(現 健康科学部救急救命学科)

救急救命学を学ぶ学生として、どのような救急救命士になっていくべきかを考えたとき、外国語で対応できる救急救命士になりたいと思い、研究会を立ち上げました。そして、同じ志を持つ10人の仲間とこのプロジェクトを進めました。

活動を通じて、現場で活躍されている人たちの生の声が聞け、日本の救急隊の活動に沿った実践的な英語が学べたことで、自分たちの課題も見つかりました。アンケート調査では、ほとんどの外国人は、ケガや病気をした際の連絡方法がわからなくて不安に感じているということもわかりました。

現在の国際医療コミュニケーションサークルは、他学部の仲間も増え、ともに頑張っています。外国人とのコミュニケーションスキルをあげるため、留学生を招いて、文化や医療に対する考え方の違いなどを話す機会をつくるなど活

Are you ok? プロジェクト

概要

訪日外国人が、不調を訴えたときに外国語で対応できる救急救命士になることを目的に立ち上げた外国語救急救命推進研究会のメンバーによるプロジェクト。東京消防庁の「英語対応救急隊」の現場見学や隊長へのインタビューを実施。また、一般財団法人日本救護救急財団の救急救命士のための英語塾を受講。その後、街頭に立ち、外国人にアンケート調査を行い、救急救命活動マニュアルを作成した。

※2015年11月に国際医療コミュニケーションサークルに改称



第3回放送 プロジェクトメンバー



第4回放送 ゲスト出演の書道部



南禅寺から琵琶湖疏水へのレポート



保津川下り体験レポート



東京・渋谷でアンケート調査を実施



京都・鴨川でアンケート調査を実施



本学で同志社大学のアメリカ人留学生と交流



本学で新潟大学のドイツ人留学生と交流

地域の高齢者の方々への訪問活動



片岡 永梨香 さん
看護学部 看護学科 3 回生

高齢者の方々によりよく生活するための課題を一緒に考える

看護学部の授業「プライマリケア実習」では、2 回生から 4 回生までの間、地域の高齢者の訪問活動や、体力測定・健康教育を山科区老人クラブの協力の

もっています。訪問活動では、同クラブの女性委員が中心となって、ひとり暮らしの高齢者の方を定期的に訪問される活動に、同行させていただいています。この授業は、高齢者が健康で自立した生活を営むために、何をすべきかを高齢者の方と一緒に考えるものです。

初めての訪問は 2 回生でした。初対面で、世代の違う人とコミュニケーションを取るのには難しかったです。そこで私は、相手のことを理解したいとの思いから、お話を聞くことから始めました。少しずつお話するなかで、その方が必要とされることの手がかりを探しています。今後は、健康的に、身体機能の衰えをできるだけゆるやかにして、今の生活を維持していくための提案ができればと考えています。

京都橘の 学びに注目！

大学ではそれぞれの学部・学科や団体がさまざまな学びや取り組みを行っています。その一端を紹介しましょう。

陶灯路の運営



飯森 千夏 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科 2 回生

京都・山科の伝統産業
「京焼・清水焼」を知ってほしい

学内外で行われる恒例のイベントになっ

た「七夕陶灯路」やまじな駅前陶灯路」の運営をしています。入学してすぐに先輩から灯りイベント「陶灯路」の話を聞き、写真を見て感動しました。山科の伝統産業「京焼・清水焼」を、地域の方々と一緒に盛り上げるイベントをしていることにも、興味を持ちました。大学生になったら、何か活動をしたいと考えていたので、文化政策・現代ビジネス学会のメンバーとして、1 回生から携わっています。2 回生になった今、下回生を引っ張っていく立場になり、みんなをまとめる難しさや大切さを実感しています。

学内で行った今年の「七夕陶灯路」では、3 つのエリアを「竹取物語」「白雪姫」「不思議の国のアリス」の物語で表現しました。また、灯りイベントだけでなく、吹奏楽部や表千家茶道部などサークルと連携して楽しんでいただける企画を用意しました。このイベントを通して、伝統産業に触れ、魅力を感じる機会になればいいなと思っています。

歴史文化ゼミナール冊子作成



岡本 愛 さん
文学部 歴史学科 3 回生

歴史を違う視点から見ることが出来る機会

文学部主催学外講座「歴史文化ゼミナール」の内容をブックレットにする手伝いをしてみないかと、ゼミの増淵徹教授から声をかけられ、テープ起こしの作業を引き受けました。私は石清水八幡宮で行われた第 1 回を担当しています。講演者の話をリライトすることで、違う視点から歴史の勉強もできるので、と思っています。講演中は、メモを細かく取るように心がけ、漢字や読み方などを書き写しました。実際の作業に入ると、専門用語が多く、音声だけで聞き取る難しさを実感しています。それでも、正確に聞き取り、資料を見ながら書き起こして、推敲までできるように頑張りたいです。

講演では、石清水八幡宮の成り立ちや、建造物についての深い話を聴くことができておもしろかったですね。講演後には、境内を見学して回りながら説明してもらい、とてもわかりやすかったです。また、参加された方々が熱心に傾聴されている姿を見て、私自身も刺激を受けました。

たちばな健康体操を考案



村山 寛和 さん
健康科学部
理学療法学科 4 回生

地域の方々の健康の維持やケガの予防のために

理学療法学科ヘルスプロモーションコースの学生は、3 回生になると野洲市と連携して行う高齢者の体力測定会に参加します。その結果報告会で、高齢者の健康の維持・向上のための体操を組み入れています。従来は、既存の体操を行っていたのですが、調査結果で明らかになった身体機能の低下を補うための新たな体操「たちばな健康体操」を、先生のサポートを受けて自分たちで考案し、DVD を製作しました。

製作の途中では、運動の回数、スピード、動きの大きさなどを決めるのに苦労しましたが、既存の体操やテキスト、学術論文を参考に考えました。全身を使う動きや、頭を使いながら運動する二重課題を導入するなど工夫しました。製作した DVD は、野洲市の高齢者サークルや山科の腰痛予防教室などでも活用されています。健康寿命を伸ばし、ケガの予防になるようにと自分たちが考えた体操を、高齢者の方々に楽しんでもらっていただけたことにやりがいを感じています。

里帰りの会に参加



中筋 渉太 さん
人間発達学部
児童教育学科 4 回生

卒業してからも先生や仲間とつながっている

「里帰りの会」に参加しました。毎年 5 月頃に、その年の 3 月に児童教育学科を卒業した先輩たちが母校に帰って来る会です。卒業生がお互いの近況や就職後の経験を交換し合う場となっています。私たちが学生も、先生となった先輩から、現場の楽しい話や困っていることを聞くことができとても参考になりました。ある先輩が、大学時代につくった教材が子どもたちに喜ばれ、ほかの先生も興味を持ってくれたと話していました。そのような話を聞くと、現在の学びと教育現場のつながりを強く実感します。また、教員採用試験を目前に控え、経験者である先輩方からアドバイスをもらうことができるのもうれしいですね。

新入教員は、初めから多くのことを一人でやっていなくてはならず、忙しくしている先輩教員になかなか聞けないこともあるかと思っています。児童教育学科の卒業生は、この会があることで、卒業してからも、先生方とのつながりを持って、共に学んだ仲間と情報や悩みを共有することで解決策が見つかったり、ホッとする機会になっているようです。



8 響友館食堂
白を基調にし、カラフルな椅子が映える食堂には、楕円形のテーブルやカウンターなどさまざまなテーブルを配置しています。食事を楽しむだけでなく、憩いの場として、新しい出会いが生まれる空間です。



9 購買
木目で統一された落ち着いた空間には、豊富な日用雑貨や飲食物、書籍をそろえています。

学生生活を支える施設が続々誕生！

2017年の大学開学50周年に先駆け、地上5階建てで、約600席を持つ食堂のほか、購買や保育実習室、講義室、演習・会議室、研究室などを備えた「響友館」が竣工しました。また、新たにラーニングcommonsやカフェなどが続々オープンし、より充実した学生生活を支援しています。



ゼミで
クリスタルカフェの
デザイン提案

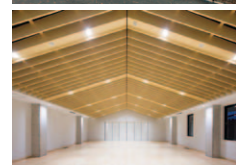


森江 剛史 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科4回生

2015年7月に松本正富ゼミの学生7人で、クリスタルカフェのリニューアルに向けたデザイン提案を行いました。提案にあたっては、まずゼミ生一人ひとりが大学の要望に沿って図面を作成し、話し合いを重ね、提案の方向性を固めました。その後、図面、模型、パースの各担当に分かれ作業を行い、私はCADを使用したパース作成を担当しました。大学の要望や実現性を踏まえ、全員で話し合いながら提案をまとめることは難しくもありましたが、自分たちの考えていたコンセプトやデザインが実際の建物に反映されたときは感激しました。将来は、建築士資格を取得し、ゼミ活動や大学生活で学んだことを活かして、多くの思いを形にしていきたいです。



10 クリスタルカフェ
パニーニ、サラダ、ドリンクなどを提供するおしゃれなカフェとして生まれ変わりました。



11 レッスンホール
和太鼓の練習などに使用するホールです。



1 セントラル・commons
3つのデジタルサイネージを備え、大学のさまざまな情報が発信される活動的な空間です。



4 ラーニング&リサーチcommons
看護学部の学びの拠点・清優館2階にある研究・学習のためのラーニングスペースです。



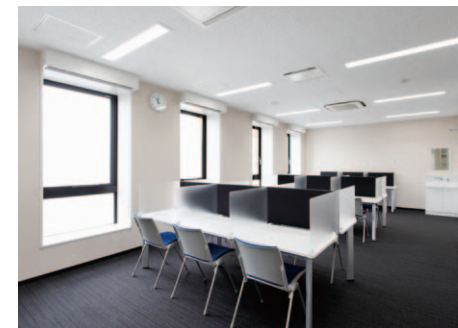
2 アクティブ・commons
最新のICT機器を備えた、グループ学習エリアです。さまざまな活動に活用できる汎用性の高いスペースです。



5 Tachibana English Community(TEC) PCスペース
言語のe-learningに利用可能です。



3 フォレスト・commons
南側の山を背にし、広い前庭をもつ静かな環境下にある、落ち着いた雰囲気での学習スペースです。



6 Tachibana English Community(TEC) Individual Study Room
言語の個別学習に利用する学習スペースです。



7 響友館ラウンジ
言語学習を行うほか、学生・同窓生・教職員の世代を超えた集いの場として活用できます。

ラーニング
アシスタントに
インタビュー

2016年4月から新たな学習スペースができ、そのなかのアクティブ・commonsとTachibana English Community(TEC)で機器の貸し出しや問い合わせ対応などの管理業務をしています。できたばかりのスペースですが、利用する学生も徐々に増えてきています。2つのスペースは使用目的が異なります。グループワークや発表会の練習など、話しながら学習できるアクティブ・commons。ここには、大型電子掲示板やタブレットPCなど最新機器を備えています。語学学習を目的としたTECは、お昼休みに留学生との交流を行っていたり、PCを使ったスカイプレッスンや個別学習、グループ学習もできるなど、語学を学ぶための環境が整っています。そのスペースをいつでも気持ちよく利用してもらえるように心がけています。



平松 琴莉 さん
文学部
日本語日本文学科2回生

京 都 橘 の 改 革

—より充実した学びを学生と社会へ—



大学院の
充実

2017年4月、大学院文学研究科歴史文化専攻(博士前期課程・博士後期課程)と現代ビジネス研究科マネジメント専攻(修士課程)を開設します。学びを深め、研究者としての活躍や高度な専門職をめざします。

文学研究科歴史文化専攻(博士前期課程・博士後期課程)

※文学研究科言語文化専攻修士課程および歴史学・文化財学専攻博士前期課程・博士後期課程を改組。

人間の文化に関する深い理解のもとに、歴史文化分野において高度な研究能力を備えた教育研究者、あるいは豊かな専門的学識と幅広い教養をもって社会に貢献できる人材の養成をめざします。

Point!

- 「京都」に焦点をあてた研究
- 「女性歴史文化研究所」との連携による研究
- 「書道」「歴史遺産」に関する研究

現代ビジネス研究科マネジメント専攻(修士課程)

※文化政策学研究科文化政策学専攻博士前期課程を改組。

これからの社会を展望し、新たな時代のビジネスに不可欠な人材を養成し、企業や官公庁等の高度なマネジメントに携わることのできる専門職業人、および博士後期課程に進学し高度なマネジメントに関する研究を深める人材を養成します。

Point!

- 「企業マネジメント」と「公共マネジメント」に広がる多様で柔軟なカリキュラム
- 企業から自治体・NPO まで、幅広い分野の高度職業人および研究者の養成
- 大学院生の就業力養成を支援するインターンシップの実施



経営学科
入学定員増&
情報ビジネス
コース新設

現代社会において欠かせないITを体系的に学び、情報ビジネスコースを新たに設置。また、入学定員が130人(2016年度)から180人(2017年度)に増加します。

Point!

- 企業との提携講座や課題解決型学習で現代ビジネスを体感
- 進路目標に沿った6つのコースで学ぶ

6つのコース

企業経営コース

企業経営において欠かせない知識やスキルを総合的に学び、製造からメディアまで幅広いビジネス業種において、多様な職種で活躍できる人材育成をめざします。

金融コース

生活に欠かせない財政や金融システムの理解から、株や証券、保険にいたるまで実践的な知識を修得し、金融機関や企業の経理、財務部門で活躍できる人材育成をめざします。

医療経営(医療事務・診療情報管理士)コース

少子高齢化や医療機関の人材不足など、転換期を迎えている日本の医療機関。その現状を考察し、経営に必要なマネジメント能力と専門的知識を体系的に学ぶことができます。

情報ビジネスコース

ITに経営学の視点からアプローチする情報ビジネス領域と、Webシステムなどを実践的に使いこなすための知識・活用能力を修得する情報技術領域を体系的に学びます。

公共経営(公務員・消防・警察官)コース

地方自治体や警察、消防など非営利目的の組織体の経営学を学び、高度なマネジメント力が求められる公務員や消防官、警察官を養成します。

グローバルビジネスコース

企業活動のための経営の知識とスキルを修得し、グローバルに事業展開する企業経営について学びます。外資系企業やグローバル企業など国際社会で活躍できる人材を育成します。



発達教育学部
誕生!

人間の発達と教育に関する専門的な知識を持った人材を養成するため、2017年4月に発達教育学部が誕生します。人間の発達と教育に関する課題に真正面から取り組み、次世代を担う子どもたちの成長を援助できる人材を養成します。

Point!

学生の夢を叶える、圧倒的な合格実績(正規合格者)

2016年3月卒業生

- 公立小学校教諭 合格率 **71.4%**
(受験者数42名/合格者数30名)
- 公立幼稚園・保育園 合格率 **79.4%**
(受験者数63名/合格者数50名)

※人間発達学部児童教育学科の実績です。受験・合格者数は実人数です。

2つのコース

児童教育コース

小学校教諭をめざし、安定した教育技術と子どもへの理解力を養い、教育実践において大切な反省力や分析力、問題解決能力を磨きます。またIT利用学習やディベートなど、子どもの学習意欲を引き出す授業づくりや教材開発を学びます。新学習指導要領に基づいた、小学校での外国語活動に対応した授業も開講。英語力のある小学校教諭として活躍できる、小学校英語指導者資格(J-SHINE認定)を取得することも可能です。

幼児教育コース

保育士、幼稚園教諭をめざし、子ども理解を基礎としながら、親子関係や生育環境など人間発達について学びます。その上で個々の乳幼児の発達課題を見つけて支援しながら、保護者とパートナーシップを築く力を身につけます。また、乳幼児を取り巻く環境の変化から、より求められるようになった乳幼児と接する際に必要な豊かな感性や表現力を磨き、観察から得られる小さな気づきを保育計画として、立案・実行できる優れた実践力を養います。



国際英語学部
誕生!

2017年4月、京都で国際共通語としての英語を専門的に学び、国際感覚を身につけることができる国際英語学部が誕生します。英語を学ぶだけではなく、文化・社会・経営・観光などに関する幅広い知識と教養を基盤としたグローバルコミュニケーション能力を身につけ、社会のグローバル化に対応できる人材を養成します。

Point!

- 全員が原則1年間の海外留学(教職志望者には半年間の留学プログラムも準備)
- TOEIC®730点の早期達成をめざす語学プログラム
- 進路目標を明確にする3つのコース

3つのコース

グローバルキャリアコース

ビジネスの現場において役立つ専門的な知識や教養を養うグローバルキャリア領域を中心に学びます。経済学、経営学、会計学などのより実践的かつ専門的な知識を身につけます。外資系企業や国内企業の国際部、金融系企業などで海外を舞台に活躍することをめざします。

国際観光コース

観光学を中心に学ぶとともに、地域の魅力や観光資源に関する知識を修得するための科目もバランスよく学びます。高度な英語運用能力に加え、日本や海外の文化、多様な考え方を理解した上で、旅行業、観光業、航空業などの現場において、海外の人と深く関わることのできる知識とスキルを身につけます。

英語教育コース

英語教員として必要な知識や、英語圏の文学・文化や多文化コミュニケーションなどの知識を修得する国際言語文化領域を中心に学びます。留学経験を活かした授業展開など、次世代の英語教育に対応した知識とスキルを身につけます。

突撃！まだ見ぬ研究室

たちばなブログスタッフ presents

友達からおもしろい先生と名前を聞けけれど、どんな先生？
あの先生初めて見るなあ、なんてことはありませんか？
今回ブログスタッフが気になるウワサの先生2人に突撃取材！
京都橘の知恵に出会う！ ありがたーいお話も。



かわいい自分には 旅をさせろ！



野村 幸一郎 教授
文学部
日本語日本文学科

Q どんな研究をしていますか？

元々は日本の近代文学で森鷗外の研究をしていました。文学者というのはノイローゼになったり、人生を間違える人が多いんです。そういう人の話ばかり読んでいるとその世界に引き込まれてしまつて、自分もそんな気持ちになってくる。しかし、森鷗外は本を書く傍ら医者で軍人、政治家もやっていたバランス感覚がある。最近はいろいろ手を出しています。森鷗外の研究者として僕の学生生活はスタートしました。

それと並行して京アニ(京都アニメーション)についての論文も今、書いています。私事ですが、子育てが始まって、子どもが朝から晩まで「こたりのトトロ」を観るんですよ。それを一緒に観ながら、論文を書かないといけない。でも子守りをしないと嫁さんに怒られる...と思ったときに「これ(こたりのトトロ)で書けばいいのではないか!!」と気づき、宮崎駿の本を書きました。それが今年第三版までいきました(笑)。それがきっかけで、日本の近代文学をやりながら、疲れると現実逃避のようにアニメの世界で論文を書いていきます。

Q 休日の過ごし方や趣味は？

休日も研究や論文の執筆、本の編集をしています。趣味としては、最近では語学学習にはまっていますね。1年間台湾にいたことから、中国語の勉強を続けています。今年、マレーシア旅行に行く前に、マレーシア語の本を買ってきて勉強しました。

Q 旅行業界(前職)へ就いたきっかけは？

私はJTBで33年間勤務していました。実は私、よろしくない学生だったんです(笑)。ヨットの経験から「船乗りになろうかな」とか、商学部でしたから「公務員(国税専門官)になろうかな」と思ったりしていました。偶然、旅行会社のカウンターが目につき、ひかれて受けました。実は、高校の頃から映画で見たアメリカの広大な芝生に憧れていていました。海外へ行きたかったこともJTBにフィットしたんですね。

Q 海外勤務での経験談は？

海外での勤務は、最初にサイパン、次にグアムの支店に赴任しました。その後、北京ではオリンピックの会議に関わりました。最初、会社内の公募で研修生として応募したのですが、なぜかサイパン駐在になってしまった。ただ、海が好きで海の近くに住めるのはうれしかった。幸い、一緒にきてきてくれた家族は、海外に馴染んで楽しんでくれたようです。そして、ともにサイパンからグアムへと島流しされたんです(笑)。日本に帰国してから、直近では、販売促進、CSRの仕事をしていました。

Q 印象に残っている出来事は？

学生時代に海外旅行経験はなく就職が決まった後に「飛行機に乗っておかないと...」と無理して北海道へスキーに行きました(笑)。

日々の気づきが 強みになる



福井 弘幸 専任講師
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科

Q 休日の過ごし方は？

45歳ぐらいのとき、自分の生活の何かを変えたいと思っていました。その頃、大阪国際女子マラソンを見て、公道を走ってみたいと思ったことがきっかけで、マラソンを始めました。それから練習を続け、これまでに北京マラソンやホルルマラソンにも出場しました。また、コンサートも私の趣味の一つ。今年は、M.C.1000が出演する夏フェスに参加し、励まされてよかったと思います。土曜日に大学に来るときは、少し気分を変えて、京都駅で一旦降りて駅弁を買い、楽しんでます。

Q 学生に伝えたいこと

コミュニケーションをとるには道具として言葉ができないといけませんよね。英語であれ、中国語であれ、ほかの言語であれ、その国の言葉が話せたら世界が広がります。言葉は習うより慣れること、私は考えています。別にその言葉が少々できなくも、何か通じるところがあるの、学生の皆さんにはどんどん言葉学んでほしいと思います。将来のためにというより、自分の世界が広がると考えて

た。現地に行ったときに少しでも話せたら楽しくなると思ったからです。いくつかフレーズを覚えていったのですが、一番使った言葉は「テリマカシ」(ありがとう)でした。英語で「Thank you」と言っても反応してくれなかったのですが、「テリマカシ」と言つと、とてもうれしそうに「こり」となすいてくれました。

それと、山登りも好きですね。始めたのは20歳の頃で、体力づくりが一つのきっかけでした。北アルプス、中央アルプスの有名な山は、だいたい登っていました。最近では楽しみや体力づくりのためだけに山に登るのではなく、昔の人の山に対する信仰や歴史、文化などを感じるために山に登ることが多いですね。ぜひ、語学学習も山登りも楽しいのでやってみてください。

Q 学生に伝えたいこと

今の学生は僕が学生だった頃に比べて大変だと思っています。何が大変かというと、昔は「かわいい子には旅をさせろ」だったのに、今は「かわいい子だから旅をさせない」という時代になってしまったからです。つまり、大学を卒業するまでは閉鎖された理想郷のなかについて、卒業すると突然社会に放り出されてしまう。結果的に会社に入ってからとてもつらい生活が待っていることになる。それを防ぐには「自分で自分に負荷をかける」しかありません。たとえば「4年間で10カ国まわる」と目標を決めて旅をするなど、学生の間に卒業後の社会を生き抜けるタフさを身につけることが必要ではないかと思っています。

もりたいですね。そのほうが楽しいと私は思います。

また、学ばという点についても、受け身で学ぶのではなく「気づき」を持って学んでほしいですね。勉強は一生ものです。「死んでも勉強」と言われるほど世の中は知らないことが多いのです。「気づき」によって学問に対しての興味や目標、そういったものが生まれます。私は、その「気づき」を皆さんに講義を通して提供していけたらと思っています。

米田 遼一郎 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科 4 回生

岡本 愛 さん
文学部
歴史学科 3 回生

村山 雄人 さん
現代ビジネス学部
経営学科 2 回生



編集後記

今回はおもしろい先生を特集したい！と決まったテーマでしたが、おもしろい話も深い話も聞けてとても充実した記事になりました。もっと気になる人は先生に話しかけてみるのもオススメです！



photo : Ai Hirano